

紀要 誌名の変更について

著者	三溝 信
出版者	法政大学社会学部学会
雑誌名	社会志林
巻	46
号	1
ページ	1-1
発行年	1999-09
URL	http://doi.org/10.15002/00015083

紀要 誌名の変更について

社会学部長 三 溝 信

法政大学社会学部の研究論文発表誌の誌名を、『社会労働研究』から『社会志林』に変更することになりました。

『社会労働研究』創刊号の発行日付は1954年1月1日であり、それ以降、昨年度の45巻4号まで、この誌名は社会学部とともにその歴史を重ねてまいりました。社会学部の前身が中央労働学園であったことからして、この誌名は学部創立からかなりの期間、学部教員の共通の研究関心に適合したものでした。しかし、学部の多摩移転に伴って教養教育を含む学部一貫教育の体制が実現したこと、国際的にも社会科学の問題関心や方法が多様化したことなどから、最近ではこの誌名が狭すぎるという感想が寄せられるようになっていました。1996年度、応用経済学科を社会政策科学科に学科名称変更したのを機会に、新誌名を採用することにしました。

『志林』は、法政大学の各学部の研究紀要にほぼ共通する名称です。したがって、『社会志林』という誌名も、社会学部紀要という性格をもつと考えています。英文表記は“Hosei Journal of Sociology and Social Sciences”とし、巻数は『社会労働研究』をひきついで第46巻から出発します。

今後とも御指導御鞭撻下さいますよう、お願いいたします。

1999年9月